



ラカム

International School Japanese Section in Riyadh

リヤド日本人学校

学校便り12月号

2015年(平成27年)12月1日

本校在籍児童生徒数(12月1日現在)小学部11名, 中学部0名 計11名

12月の生活目標 思いやりの心っていい気持

師走に思うこと

校長 鈴木 薫

廊下に行事ごとの記録写真や、集合写真が貼ってあるが、その量もだいぶ増えてきた。それらを眺めながら、4月からの日々を振り返り、今年もここまでできたかと感慨にふけることがある。同じことを繰り返していることもあるが、毎年何かが変わっていて、興味深い。前年うまくいったからと、同じことを同じように行ってもうまくいかないこともあり、逆にこれでうまくいくのだろうかと心配したことが、予想以上の成果をもたらすこともある。教育は人と人との関わりの上に成り立つものだから、ある意味常に流動的であり、当然と言えば当然のことである。

今年も12月になり、次年度のことをいろいろ考える時となった。次年度のことを考えるうえでのキーワードとして、初めに思い浮かぶのは、「安全・健康」である。世界各地にテロの不安が広がり、各国は対応に苦慮している。サウジアラビアも同様である。リヤドにおいても、常にテロの脅威は潜在し、気を抜くことはできない。「いつでもどこでもテロは起こりうる。テロの恐れがあるところには極力近づかない、異常を感じたら身を守る行動を迅速にとること」を、訓練を通して繰り返して子どもたちに教えたい。

次のキーワードは「基礎・基本」。学校はすべてのものの、基礎基本を学ぶところである。日本で暮らしていれば、テレビや新聞、友達との会話等を通して、自然取得するものも多い。例えば日本語の語彙などは、学校以外でもたくさん身につけていく。だが、外国で生活していると、どうしても日本語との接点が少なくなるので、理解できる語彙が少ないこと、増えないことがある。えっ、そんな言葉も知らないのと驚くこともある。語彙だけではなく、算数でも、社会でも理科でも同じようなことが起きる。それを意識しながら、基礎基本を大切にしたい。

もう一つのキーワードは「グローバル」である。「グローバル人材の育成」は、これからの教育の重要な柱の一つであり、文部科学省も強く推進しようとしている。「グローバル人材」について、文部科学省は次のように説明している。グローバル人材とは、「日本人としてのアイデンティティや日本の文化に対する深い理解を前提として、①豊かな語学力・コミュニケーション能力②主体性・積極性③異文化理解の精神等を身につけて様々な分野で活用できる人材」である。思えば、日本人学校は、最もグローバル人材の育成に関して有利な環境にある。そんな視点からも次年度の計画を考えていきたい。

本年も皆様には、大変にお世話になりました。新年も引き続きよろしくお願いたします。

伝統文化を楽しむ

お正月を日本で迎えるご家庭も多いことと思います。

お正月は、家族団らんの楽しみだけではなく、日本の伝統文化を感じることができる、貴重な機会でもあります。どうぞご家族で伝統文化に親しんでください。

年末年始休暇（12月29日から1月3日）を除き、冬季休業中も日直が勤務しております。
ご用事の際は、下記にご連絡ください。

電話 241-2591

緊急時の連絡先 校長携帯 053-480-4365

12月 行事予定

日	曜	行 事	日	曜	行 事
1	火	全校集会	17	木	
2	水		18	金	
3	木		19	土	
4	金	授業参観	20	日	
5	土	リヤド祭、餅つき（PTA 主催）	21	月	
6	日	振替休日	22	火	個別面談
7	月	全校集会 読書週間（17日まで）	23	水	2学期終業式
8	火		24	木	冬季休業（1月4日まで）
9	水		25	金	
10	木		26	土	
11	金		27	日	
12	土		28	月	
13	日		29	火	
14	月		30	水	
15	火		31	木	
16	水				